

目標達成計画

作成日: 平成 27年 3月 2日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	60	入居者が屋外の行きたいところに行けていない。行きたいところを言うことが出来る入居者が少ないのが現状であるが、散歩であったり、近隣の買い物であったりも、人員不足の為なかなか実施する事が出来ないことが多い。	散歩や買い物行けるようになる。	人員不足の解消のためにスタッフを増やす。基準には足しているが介護度の重い方が多く介護に時間が掛かり外出する時間を作ることが難しい。外出の時間として予定をたて出来るだけ実施できるようにしていく。	3ヶ月
2	59	安定した生活は送っているが、生き生きした表情・姿は一部の入居者のみになっている。	自分の居場所・生きている実感・出来ることのある生活を送ることで生き生きした表情・姿がみえるようになる。	認知症の為出来ないことが多いがスタッフ側が出来ないであろうという関わりではなく一つでも二つでも自分で出来ることを見出し増やしていくように関わっていく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。